

令和８年度 高大連携情報交換会に向けてのアンケート（高校対象）

質問①学校推薦型選抜（指定校推薦）についてご意見、ご要望があれば、入力してください。

44 件の回答

<要項等の書式の統一>

- 求人票のような統一書式が欲しい。基準等を課さない推薦要項はやめていただきたい。
- 要項の記載事項の様式を各大学で統一してほしい。
- 提出書類の様式統一の実現ができれば本当にありがたいです。
- 統一用紙であればありがたいです。
- 指定校推薦の条件の記載形式の統一
- フォーマットを揃えるか、1枚に必要な情報（推薦する学部学科、人数、要件、試験日、試験内容等）をまとめたプリントを別添えしていただければありがたいです。
- 募集要項のフォーマットを統一してほしい。募集要項をWEB上からダウンロード形式にするのであれば、紙媒体で1部添付して欲しい。出願期間を11月1日からにして欲しい。
- 出願要件等（募集人数・出願資格・出願期間・選考日・結果発表日・手続き締切日・奨学金などの備考）のフォーマットの統一
- 出願要件などの書式を統一してほしい。
- 大学からの要項表記を統一して頂きたいです。
- 指定校の要項(条件や受験日程など)の形式を統一してほしい
- こちらの見落としがないように、概要（生徒に必ず伝えなければならぬこと）を1枚の紙（片面または両面）にまとめてほしい。
- 学部学科コースごとの人数、評定の条件、その他の条件、試験内容をまとめて記載してほしい。教員・生徒ともに、この部分を閲覧し、見落としがないようにしたい。10月中の出願はやめてほしい。

<出願資格について>

- 本校は指定校枠も少ないため、特に要望などはありません。出願資格の欠席の条件に通信制高校は除くという大学があり、そうした条件は非常にありがたいです。
- 人数枠を指定した学校推薦型の選抜で、1浪生まで出願可の場合、周知し校内選考をするのが難しいので、現役生に限るか、人数枠を撤廃するかのどちらかにして欲しいです。

<オープンキャンパスでの対応について>

- オープンキャンパス等での生徒への告知をしないでほしい
- 総合型選抜と指定校推薦の併願を認める学校が何校もあり、学校見学で生徒に勧める学校もあります。本校では指定校推薦は専願としていますので、指導に苦慮しています。

指定校推薦の意味がよくわからなくなっています。

<封筒等の件>

- 封筒に必ず「指定校推薦書類」の記載していただきたい。今年度も紛れてしまった例があった。また、ひな形を作っていただけるとありがたいです。各校バラバラで情報収集、書類作成時に非常に時間がかかります。
- 書類は郵送または学校訪問時に直接進路指導部に手渡すかをお願いしたい。学校訪問時に進路指導部以外の一般教員に、また大学等のイベントに参加した一般教員に書類を託すようなことがないようにしていただきたい。

<指定校の連絡時期等について>

- 7月上旬までに連絡がほしい
- 厚かましいお願いですが、指定校の依頼を7月上旬までにいただけるとありがたいです。また、封筒の宛名面に指定校関係書類等とご記入いただいていると嬉しいのです。
- 6月中に連絡がほしい。本校では7月に協定校の学内選抜があり、協定校か指定校かを早い時期に決断しなければならないため。特に指定校の取り消しが6月末までわからないようなことは辞めてほしい。首都圏の大学からは前年度10月頃に新規の指定校枠などの連絡がある場合もあり、近畿圏の大学は対応が遅いように感じています。

<指定校の選考と総合型選抜出願と時期が重なる件>

- 本校では毎年9月にエントリー及び選考を行っていますが、近年、総合型選抜の実施時期が早まっている関係で、総合型への出願期間と指定校のエントリー期間が重なる事態が散見されます。指定校の依頼が届く時期と資料作成にかかる時間とを考慮すれば日程を前倒すのは難しく、どのようなルール作りをしたものかと頭を悩ませています。
- 指定校推薦の学内エントリー期間と総合型選抜の出願期間が重なるケースが見られ始め、新たなルール作りが必要だと感じています。

<入試当日の面接等について>

- 指定校推薦で、入試要項に「面接のみ」と記載があるのに、当日口頭試問という名の基礎学力試験があるのはどうかと思います。それならそうと「当日、漢字や計算問題等の基礎学力試験があります」と記載してくれたら対策させるのに。全然出来なかったのに合格しましたが、それなら何のために突然の口頭試問（それもある年とない年がある）を行ったのか。いたずらに受験生の不安をあおるのはやめていただきたいです。看護学部なので学力を担保したいのは分かるのですが、高校生に対する教育的配慮が感じられませんでした。小さくそれを記述してある大学もあります。また最初から基礎学力試験ありと明記して、デジタルで課題を送って来られる大学もあります（その大学は指定校推薦なのに面接なしです）。点数は合否に関係ないとの記載があったと思いますが、生徒

はよく勉強します。落とされるかもという心配があるのでしょうか。こちらの方が手間もかかっていてよほど誠実です。

<大学への要望ではなく各学校での選考方法について>

- 各校の選考方法を教えていただければ幸いです。
- 選考方法をどのようにすれば良いのか、悩んでいます

<生徒の学習意欲等について>

- 子どもたちの意欲を喚起する、中長期的な制度運用を構築したい。
- 入学前課題等で、生徒が勉強を続ける環境を作ってもらいたいです。
- 学力を重視して努力を続ける生徒との公平性の観点から、指定校推薦の枠は現状維持もままで良いのではと思います。
- 指定校推薦はありがたいけれど、大学の入学者確保の側面が強いと感じています。早く進路を決めてしまいたい生徒が指定校推薦を選びますが、できれば生徒自身が挑戦することができる最大の目標に向かって学習を続けてほしいところです。なのでせめて生徒にしっかり力をつけてもらうために、3学期最後まで学習に取り組ませています。

<教員の負担過多について>

- 総合型選抜や協定校・高大連携校入試との兼ね合いがわかりにくい。金銭的な優遇がそれぞれの入試タイプや各上級学校において違い、すべてを高校が把握することが難しくなっている。
- 年々件数が増加し資料作成に忙殺されている。受験・進学実績を考慮しない指定枠の濫発はかえって大学・専門学校の印象に影を落とすのでは。
- 近年、指定校推薦に加えて、協定校入試や高大連携入試等の実施があり、総合型選抜を含めた年内入試の多様化・早期化が目立っている。それぞれの大学の選抜内容の理解が難しく、生徒個々の対応のみならず、教員への情報提供にも限界を感じている。

質問② 「学校推薦型選抜（公募制推薦）」についてご意見、ご要望があれば、入力してください。特に、昨年 6/3 発表「選抜実施要項」に基づき、「科目の得点」「小論文」「調査書」等を総合して判定するとしたことへのご意見、ご要望があれば、入力してください。44 件の回答

<志望理由書・小論文について>

- 小論文への指導がとても大変になるので、制度変更をして欲しいです。
- 小論文の取り扱いについて、不透明感があり、指導が難しい
- 特に志望理由書の得点化に関してはいまだに考えの整理がつきません。
- 調査書や小論文のどこを評価するのか、具体例があると助かります。

- 本校ではこれまで小論文を必要とする生徒に個別対応を行ってきましたので、公募制推薦に小論文が課されるという発表を受けて大いに混乱しました。幸い、昨年度は志望理由に近いものが多かったり総合的判断の一助にとどめるものが多く実害は出ませんでした。それでも今後の動向が気になるところです。メディアで報道されている面接の必須化も含め、今後の指導に大きな不安があります。
- 小論文や志望理由書などは個々の準備・添削などが難しく、担任や進路指導部の大きな負担になっていると感じます。
- 得点化しない場合は、何のために利用するのかを明示してほしい。
- 複数学部を併願する生徒にとって書きづらい。点数化している大学は「小論文」をどう評価しているのか知りたい。今後はどういう方向にいくのか知りたい。
- 小論文対策をする教員の負担が大きくなるのが懸念されます。また、総合判定となると、評価の中身が見えにくくなる心配があります。

<推薦書について>

- 教員の作成する推薦書が、可否にどれぐらい影響するのかが分からない状況で、その作成に時間を取られるのは辛く感じます。入試は、受験者本人の力を測ることが目的である以上、「何のために推薦書を作成するのか」について議論されるべきだと考えます。

<面接について>

- 数万人規模でどう実施するのか。早めに方向性が知りたい。
- 面接必須になるのは、高校もきついです。
- 面接を全員に実施となれば、近畿圏の年内入試の形は大きく変わるのでしょうか

<評価基準について>

- 総合して判定するにしてもその内訳は必ず明記してもらいたい。
- 「総合して」ではなく配点を明確にしてほしい
- 各項目の配点を明確にしてほしいです。
- 異論はないが外部検定試験の取り扱いを廃止してほしい。準会場受験に不正が横行しているのは火をみるより明らかなはずである。
- 年内入試ということでルールもあるが、科目試験に重きをおいていただけるとわかりやすい。
- 学科試験以外が、どの程度可否に影響があるのか、配点等で示してほしい。2029年度以降、公募制推薦でも面接等が必須になるが、これを機会に学力試験を中心とした推薦入試を廃止するか大幅に削減するかして、その分を一般入試にシフトしてほしい。
- 小論文等科目試験以外のものを総合的に判定する場合、もし点数化されるのであれば、採点基準や配点を明記していただきたい。

<全般的なことについて>

- よくわかりません。公募推薦で、意欲・学力の両方を担保したいという意図でしょうか。どちらの大学も短い小論文や志望理由書は可否にほぼ関係ないと明言されます。生成AIに書かせて通るような意味のない行為になっているように感じます。関東方面のように、高校生の入試を年明けにずらして高校生活を最後まで充実させたいという意図があるなら、しかるべきところできちんと議論すべきです。それをしなければ補助金カットなどという乱暴なやり方は理解できないし、本質的ではない。関西人は本音主義なので、高校生は早く受験を終えたいし、教師は早く指導を終えたいし、大学は早く生徒を確保したい。三者の利害が一致しています。これを超える意図があるなら、関係者を巻き込んできちんと議論してほしいと思います。
- 趣旨に沿った運用への是正を求めることはよいと思うが、実施する側で形式的な対応になっていることが残念に思う。
- これも各校バラバラで、現場は業務増大につながっており、廃止か対策を考えていただきたい。
- 学力以外の要素を評価に盛り込むという点では一般入試との差異化をはかることができていると思いますが、面接や小論文の指導負担が増加することに大きな不安があります。
- 大学の方が対応に困っておられると思いますが、面接や小論文対策など、ウエイトは少なくても生徒にとっては人生がかかっているの、真面目に対策する必要があり、負担は増えていると思います。
- 受験した生徒の可否報告の際に、全員の名前を教えてください。
- 試験内容の変更を含めて試験関連で大きな変更がある場合は、2年前には告知をしていただきたい。
- 専願・併願を明記してもらいたい。

質問③一般選抜についてご意見、ご要望があれば、入力してください。44 件の回答

<一月中の入試について>

- 関西圏の大学において受験日程の変更は現実的に可能なのかわかりたいです
- 今後、関西圏の大学の一般選抜日程が2月以降の実施になるのかどうか。
- 文科省の意図が高校生活を最後まで充実させるべきということなのであれば（繰り返しますが、この考えも議論すべき。受験を早く終えて残りの高校生活で、例えば探究活動やボランティアをしなければ卒業させない、などの指導方法もあるから）、極端な話、入学者は全て年明けの一般入試で確保することにして年内入試をやめさせれば（または年内での募集人数を極力減らせれば）良いのではないのでしょうか。そうすれば生徒側には安心と引き換えではありますが、年内入試で無駄に入学金を払わなくてよいというメリットはあります。

- 2月以降に実施が厳守となれば、近畿圏の私大一般入試の形も大きく変わるのでしょうか

<年内入試との関係や時期について>

- もっと募集定員枠を推薦や総合型に比べ増やして欲しいです。
- 公募が受けやすく、一般になるとかなり厳しいとにならないようにしてほしい。
- 年内入試の状況から、一部の大学では高倍率になっている点が気になります。
- 推薦入試の結果に左右されて定員を減らすことはあるのか？
- 年内の早期入試に定員を割くことで一般の枠が大幅に減少しないようにしてほしいです。
- 年内入試に募集定員をさきすぎ（合格を出し過ぎ）で、一般入試が公募制推薦に比べて極端に難度が高くなっている大学が多い。一般入試の合格枠を増やしてほしい。
- 定員厳格化によって募集人数が減り、総合型選抜からずっとすべての受験をしてきた生徒が報われない結果となることが多いです。
- 関関同立の3月試験を充実させてほしいです。

<入試そのものについて>

- 受験生の学力を最も客観的かつ公平に評価できる選抜方法であり、大学入試の中心であり続けるべきだと考えます。
- 適切な選抜を行うために難度設定が必要なことは理解しておりますが、学問的な意義や学びにつながる問いであるかという点も、ご配慮いただけるとありがたいです。
- 一般選抜を突破するために必要な力と、国が養成を求めている力とに乖離が生じていると思います。前者は旧来のいわば知識偏重型で、（それ自体が悪いというつもりはないのですが）それ用の対策が必須かつ効果的という点で特殊と言えます。一方後者は答えのない問題に向き合う思考力や主体性を求める傾向にあり、（これも悪いとは思わないのですが）生きる力の本質でありながらも対策は難しく効果もすぐには得られないという特徴があります。本校ではコースによって重きを置くポイントを変えたり、間をとる形での運用を試みたりしていますが、年内入試が過熱する昨今、生徒や保護者のニーズにも変化が見られており対策に苦慮しています。
- 受験した生徒の合否報告の際に、全員の名前を教えてください。
- 答案返却や開示をしてほしい。難しい様であれば採点基準を公開してほしい

<その他>

- 総合選抜、指定校、公募で合格した子達の「特待獲得のための受験」を、さらに推して欲しいです。
- 本校においては、一般選抜での進学希望者が少なく、個別での対応を行っているため、現状、大きな問題はございません。

質問④総合型選抜（A0 入試）についてご意見、ご要望があれば、入力してください。44 件の回答

<専願・併願について>

- 専願併願の記載、エントリー専願なのか出願専願なのかはっきりと記載が欲しい
- 専願・併願に関してもう少し明確明瞭になってくれればありがたいです。
- 専願・併願を明記してもらいたい。

<エントリーについて>

- 8月以降の正式な出願よりも前の、エントリー段階から専願とされる学校や学部、コースが見受けられるようになってきました。早期に決まることは悪いことではありませんが、高校の担任や保護者との話し合いが不足したまま「決定」となってしまう心配が大きいと感じています。
- エントリーで「合格」させたものを、書類を出して不合格にするのは、やめて欲しい。それなら「合格おめでとう」と書かないで欲しい。「一次通過」程度の表記にして欲しい。
- 出願前の早期のエントリーというのを改善してほしい。実質そこが出願となっている。
- 必要な入試方式であると思うが、あまり合格を出し過ぎないでほしい。出願は9月であるものの、それ以前に実質的な選考を行うのはやめてほしい。

<出願時期について>

- あまりに時期が早すぎる学校があるので時期を統一していただきたい。
- 出願書類を10月以降、せめて9月半ばで統一してもらいたい。現状、指導時期が教員の夏季休暇に差し掛かってしまう。
- 年々拡充している上に出願のタイミングが早まる傾向にあり、それによって本校の指定校推薦のエントリー時期と出願が重なるため、混乱が生じています。
- 9月初旬に調査書を必要とする学校が年々増えていっているように思いますが、2期制の学校のため9月中旬以降だと助かります。
- 入試結果の通知を送ってほしい。調査書発行の時期を指定してほしい。九月出願だと、前期の成績入らない。それで良いのか不安になる。

<評価について>

- 採点基準の明確化
- 選考基準を明白にすることはできないのでしょうか。
- 最初は不安や混乱がありましたが、だんだん慣れてきました。大学側の意図と生徒の意欲がマッチしなければどんなに優秀な生徒でも合格できないということが分かったので、当初に比べて指導はしやすくなっています。
- 負担感を限りなく軽減して入学者確保のための方式に堕していると感じざるを得ないケ

ースが散見されるのが残念だし、入学後に高等教育を施す責任が果たせるのか疑問に思う。

- 基礎学力は前提として見られているということは理解しておりますが、それが受験生に十分伝わっておらず、小論文や面接対策に偏る傾向も感じます。基礎学力の位置づけについて、より明確な発信があるとありがたいです。

<その他>

- 総合型入試であるのに、公募制推薦という名称を使っている大学があり、混乱の一因になっているので、その名称はやめていただきたいです。
- 専門学校や短期大学の入試日程の早期化により、高校３年生の学習意欲が下がることを危惧している。
- 受験した生徒の合否報告の際に、全員の名前を教えてください。
- 生徒によっては、志望校の決定をかなり急ぐ必要があり、担任との相談などを含めて時間的な余裕がないことが気になります。
- 個別対応が重要だが、的確に対応できる教員が少なく、一部の教員に負担が大きくなっている。
- 昨今、かなり多様化しており、指導する教員の負担になっているように思います。
- 各校の対策方法が知りたいです。

質問⑤入試全般（出願・合否発表など含む）に関して、学校現場の混乱を招く要素があれば入力してください。23 件の回答

- 指定校推薦と総合型選抜の併願可。短期大学の総合型選抜のエントリーが４月からの学校が複数あります。まだ３年生になって新しい担任との信頼関係もできていない時期なので、せめて６月以降からはじめてもらいたいです。
- WEB 出願は功罪あると思います。
- WEB 出願が主流となり、受験番号や入試の注意事項、その他連絡や資料等が、メールやLINEで生徒本人にのみ送信されることで、保護者や学校が詳細を把握しにくくなっている。時には、生徒本人が連絡に気づかず、入試直前に慌てることもある。また、ご家庭にプリンターがなく、受験票を印刷できず、入試前日にコンビニへ走る生徒も少なからずとも存在している。
- 受験生本人のみへメールやLINEでの通知が多くなり、保護者や学校が入試についての情報を把握しにくくなっている。
- 併願可なのか専願なのかが不明瞭な記載の大学があるので、用語の統一も含め、明瞭にして欲しいです。
- 出願期間や試験日、合格発表の日、これらがわかりやすくまとめて記載されていると助

かります。特に指定校推薦については、まとめて冊子にしているので。

- 指定校推薦の期日と公募制推薦の期日の重なりを無くしてほしい
- 入試方式が細分化・多様化しすぎて、理解や説明に苦勞する場面が増えています。保護者と進路面談をしていますが、いまいち理解されていない印象です。
- 先述の通り、年内入試に向けた指導体制の構築に課題が山積しています。
- 総合型選抜のエントリーの件。出願可と判定されたら合格だと言われた生徒がいる。
- 学力の特に高い生徒が集まっている高校以外では、年内入試の比率が高まり続けており、各教科の指導において、秋以降の「意味のある受験指導」が難しくなっているほか、「最後まで頑張り続ける生徒を支援する」ということが、かえって生徒の志望校合格の機会を奪うことになるなど、混乱を招いている。
- 総合型選抜や学校推薦型選抜の多様化が、学校現場の混乱を招く大きな要因になっていると考えます。
- 次年度以降の、学校推薦型選抜公募制への面接対応が非常に厳しく感じています。
- 合否の通知は本人意思で拒否できるとあるが、学校側が結果を悪用することは考えにくいので、全員通知は不可能なのか？人数だけの通知は無意味だと考えます。
- 合格通知が学校に届かない。
- 受験した生徒の合否報告の際に、全員の名前を教えてください。
- 2次手続き忘れを防止する術を講じて欲しい。

質問⑥ 大学入学共通テストの出願からのすべてがWEBになったことについて、ご意見・ご感想があれば入力してください。23 件の回答

- 楽になったと思います。
- 出願書類を預からなくて良くなり、大変助かります。
- 予想に反して混乱も起きず、作業は簡素化できたとおもいます。ただ、学校があまり介入する必要がなくなった分、サポートもできなくなり、生徒を信じるしかないような状況になったと思います。
- 思ったほど混乱はなかった
- 受験番号や入試の注意事項、その他連絡や資料等が、メールやLINEで生徒本人にのみ送信されることで、保護者や学校が詳細を把握しにくくなっている。時には、生徒本人が連絡に気づかず、入試直前に慌てることもある。また、ご家庭にプリンターがなく、受験票を印刷できず、入試前日にコンビニへ走る生徒も少なからずとも存在している。
- 思っていたより大きな混乱もなく運用できたとおもいます。強いて言うなら、教員が生徒の出願状況を確認できるサイトのログイン画面へうまくたどり着けなかったのが(URL検索もキーワード検索も×)、ログイン画面直通のQRコードをつけてもらうなどの工夫があればと思いました。

- ハガキでの確認がなくなりスムーズになった。
- 初年度なのでとまどった点はあったが、大きな問題はないと思う。ただ確認等こちらがしづらくなった。
- 手続きは簡素化され、ありがたい。ただ、成績不開示の選択を無くしてほしい。
- 全体として利便性が向上し、望ましい改善であると思います。
- 事務作業の軽減にはなった。時代の趨勢だろうと思う。
- 導入初年度ということもあって不安はありましたが、いざ実施してみると、思っているほどの混乱はなかったように感じました。
- とくに大きな混乱はなかったように思う。
- 通信制高校のため、出願漏れがないかの確認に非常に気をつかいます。
- 学校の関与が薄れると感じる
- 受験希望者が多い学校さんでは、どのように運営されているのかお聞きしたい。
- 生徒が学校に情報を開示するかしないかの選択をなくし、すべて開示して欲しい。

質問⑦「合理的配慮」を要する生徒について、進路指導上どのように対応されていますか。

20 件の回答

- 事前に個別説明を行う。大学ごとに個別で連絡をさせている。
- 対応できるものに関しては個別に対応している。
- 志望校となる大学と相談します
- 個別対応、保護者が進学先と密に連絡をとる
- 高校在籍中に配慮をし、受験時に関しては、進路より事前に先方へ相談の上、可能な限りご対応いただけるようお願いしている。
- 保健室の先生たちや支援の先生たちと連携し、保護者とも連絡を密にしながら、大学へ事前に配慮事項について保護者から伝えても良いと言われた場合は、大学の入試広報の先生に相談するようにしています。そして入学した後に、その生徒が対人関係のことや勉強のことなどを相談できる支援の窓口などがあれば教えてもらうようにしています。卒業してからも支援を要する生徒の同窓会が定期的に行われるので、そこで会えば、様子を聞くようにしています。
- 必要に応じて個別対応しています。共通テストの個別対応や、障害者枠での就職指導、就労移行支援サービスの紹介など。
- ケースバイケースで対応している。また、志望先への申告に躊躇するケースが減っている印象を持つ。
- 今のところ特に対応生徒がでておりません。
- 担任が面談を密に行い、保護者とも連携をとりながら進めています。
- 該当する生徒と話し合いを通じてできることとできないことの共通認識を図りながら指

導にあたっている。

- 希望者は別室受験を実施している。
- 実質的な合理的配慮にあたる生徒は今のところいません。(保護者からの無理難題がほとんど)
- 内容や程度によりますが、可能な限りで個別対応をしています。
- 配慮の実績、支援
- 共通テストや特別推薦、指定校推薦については、学校が入試センターや各大学に連絡をとって対応を協議している。
- 受験希望先へ早い目に問合せをし、必要に応じて親御さんを含めて事前面談を実施していただくことが多い。
- 大学入学共通テストでは、本人、保護者が希望すれば、配慮申請の必要書類を用意しています。進学先には受験前、見学の段階で直接本人、保護者から個別相談をしてもらっており、大学も力を入れておられるところが多いので、対応可能なこと、不可能なことを直接話し合ってもらって受験に至っています。
- 個別に対応しています。

質問⑧高大連携・高大接続での好事例があれば、入力してください。18 件の回答

- 端的には言えません。ただ、有利に受験を考えられることは確かです。
- 授業体験や出前授業等に参加することで、特別な入試（高大連携・協定校入試）の受験資格を得られ、生徒にとっては受験機会が増えることになっている。しかし、受験の早期化に繋がることもあり、すべてにおいて良いとは限らない。
- 本校では高大連携・高大接続に関する取組事例が少なく、特筆すべき好事例はありません。
- ○○大学との高大連携プログラムは好評です。手の届きやすいランクでもあり、生徒の興味関心を引く学部がたくさんあります。夏休み3～4回設定されたオープンキャンパスに参加して面談で意欲が認められると、修了書がもらえます。9月にそれを同封して出願すると合格です。もちろん修了書をもらっても出願しない生徒もいますが、それも自由です。
- 併設大学への内部進学くらいです
- 併設大学が提携している企業との活動に高校生も交えていただいている。
- 推薦枠増加、授業への講師派遣
- 受験要件（基準）が優しい目に設定されていることが多く、生徒にとっては受験機会の拡大に繋がっている。

質問⑨専門学校へのご意見、ご要望があれば、入力してください。15 件の回答

- 専門学校は、特定の職業や資格取得を目指す生徒にとっては重要な進学先であると考えます。
- 分野によっては改革も難しいのかもしれないと感じており、厳しさを肌で感じます。
- 指定校の要項書式スタイルを大学と統一してほしい
- 専門学校や短期大学の入試日程の早期化により、高校３年生の学習意欲が下がることを危惧している。
- 募集に苦難されていると感じる。いっぽう A0 のエントリーを通じた囲い込み（その場合の「先着順ですぐ定員が埋まる」などの「脅し」にあたる文言の使用に）憤りを感じることもある。
- A0 入試での入学者が大半を占めているかと存じますが、ある程度は学力試験や小論文など、受験意識を高めるような形で入試を実施していただきたい。

質問⑩その他に何かありましたら、入力してください。15 件の回答

- 共通テストをセンター試験時の試験内容に戻していただきたい。
- これまで関西では「ほぼ学力試験のみ」の公募制推薦入試を認めておきながら、関東への広がりへの危惧が出てきたら、急に学力試験以外の要素を入れるように指導し始める文部科学省の対応は、生徒、教員をはじめとする学校現場を混乱させるだけである。それならば、年内入試での合格（募集）の上限を設けるなど、年内入試に比重が置かれ過ぎている現状を改善することを先にすべきである。このままでは、中堅学力レベルの学校はほぼすべての生徒に志望理由書、面接の指導をしなければならず、教科指導がおろそかになってしまい、教員の仕事の質が変化してしまうといっても過言ではない。
- 各種学校で、見学後の連絡がすべてラインで送られてきます。その文章が早く出願しないと入学前授業が受けられないというもので、生徒があせってしまい、他の学校を検討することが難しくなっています。専門学校はある程度出願の時期など決めてくださっていますが、各種学校はそうではなく、生徒には違いがわからないので指導に苦慮しています。